

群馬県1位の「ナス」産地を目指した栽培技術向上と担い手育成

計画期間：平成30年度～令和2年度



単為結果性ナス試験栽培状況（H30～）



新規参入ガイドブック（R2）

東部農業事務所普及指導課
桐生地区農業指導センター

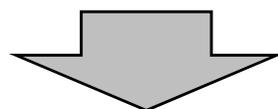


【笠懸・新里地区のナス】

- H28年のJAにっただみどりのナス出荷額は約13億円、県内でも有数のナス産地
- 後継者の就農、新規就農者の増加、GAP、単為結果性ナス等への関心

JAにっただみどり笠懸・新里地区 ナス生産規模（H28）

作型	生産者数 (名)	栽培面積 (ha)	出荷額 (億円)
露地	90	17	3.2
施設	104	26	9.6
計	194	43	12.8



指導センターでは、「ナス産地の持続的な発展を図る」ことを目的に、関係機関が連携して生産から消費までの一体的な支援を行うため、ナス生産振興を重点課題に位置づけて取り組んだ。



分類	支援事項	解決手法
組織	1 ナス産地の支援強化	「ナス生産振興会議」を核とした <u>推進体制強化</u>
担い手	2 新規栽培者の定着支援	新規栽培者向け研修会等による <u>技術習得と早期経営安定</u>
技術	3 生産技術の向上による品質・収量向上	【露地ナス】：新規栽培者を重点に、 <u>V字仕立てを中心とした技術習得</u> 【施設ナス】：天敵昆虫利用等の <u>栽培管理技術向上と単為結果性ナスの導入検討</u>
販売 (技術)	4 GAP手法によるナス生産への取組	GAPの目的・意義説明による <u>関係機関の合意形成と生産者の理解促進</u>
販売	5 産地PRによる流通支援	消費者の認知度向上に向けた <u>産地PR活動</u>

天敵製剤とは

- 施設ナスでは、アザミウマ類やコナジラミ類の幼虫を捕食する「スワルスキーカブリダニ」やハダニ類を捕食する「ミヤコカブリダニ」を導入
- 効果的な害虫防除、化学農薬削減が可能



アザミウマ類幼虫を捕食するスワルスキーカブリダニ（出展：農文協、写真：アリストライフサイエンス(株)）

単為結果性ナスとは

- 果実着果時のホルモン剤処理や訪花昆虫が不要
- 経費削減、省力化やアナフィラキシーショック対策



試験栽培中の単為結果性ナス
（TNA-168：タキイ種苗株式会社）

Ⅲ 目標年次の姿（ビジョン）



盛り上げよう！桐生・みどり地域の農業を！
群馬県東部農業事務所普及指導課
桐生地区農業指導センター

目標項目\年次	H29 (現状)	H30	R1	R2
J Aナス出荷量（t） （ ）を上方修正	3,366	3,382	3,514 (3,398)	3,514 (3,414)
新規ナス栽培者数 (単年度)	3	5	5	5
施設ナスA品率（%）	81	82	83	84
GAPに取り組んだ生産者数 (累積)	9	20	40	60



1 「ナス」産地の支援強化①

関係機関が連携した産地支援体制

平成24年度から開始している「桐生・みどり生産振興会議」を、令和元年度から「ナス生産振興会議」に特化

「ナス生産振興会議」構成メンバー
桐生市農林振興課・農業委員会事務局／みどり市農林課・農業委員会事務局／JAにっただみどり／JA全農ぐんま／東部農業事務所（農業振興課・桐生地区農業指導センター）

	H29 (3回)	H30 (3回)	R1 (2回)	R2 (3回)
協議・検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の計画と取組状況 GAP 産地PR交流会 次年度普及課題等 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の計画と取組状況 ナス産地強化計画 補助事業等 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の計画と取組状況 野菜包装機・調製機 単為結果性ナス 補助事業、GAP等 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の計画と取組状況 産地ビジョン 新規栽培者支援 単為結果性ナス 補助事業、GAP等

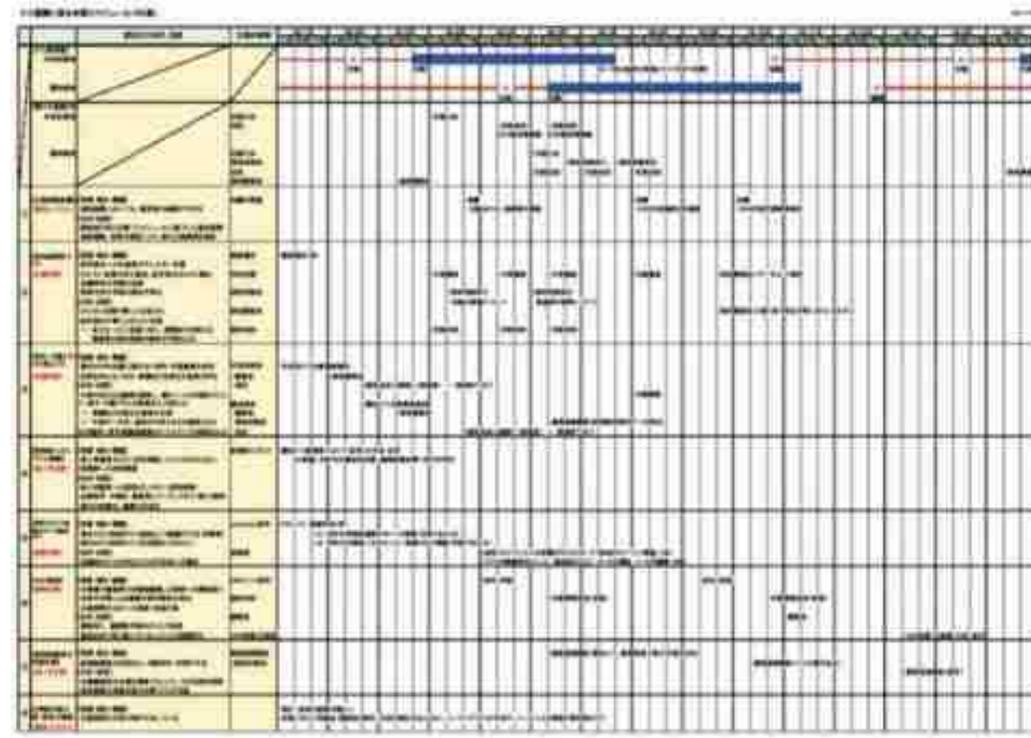
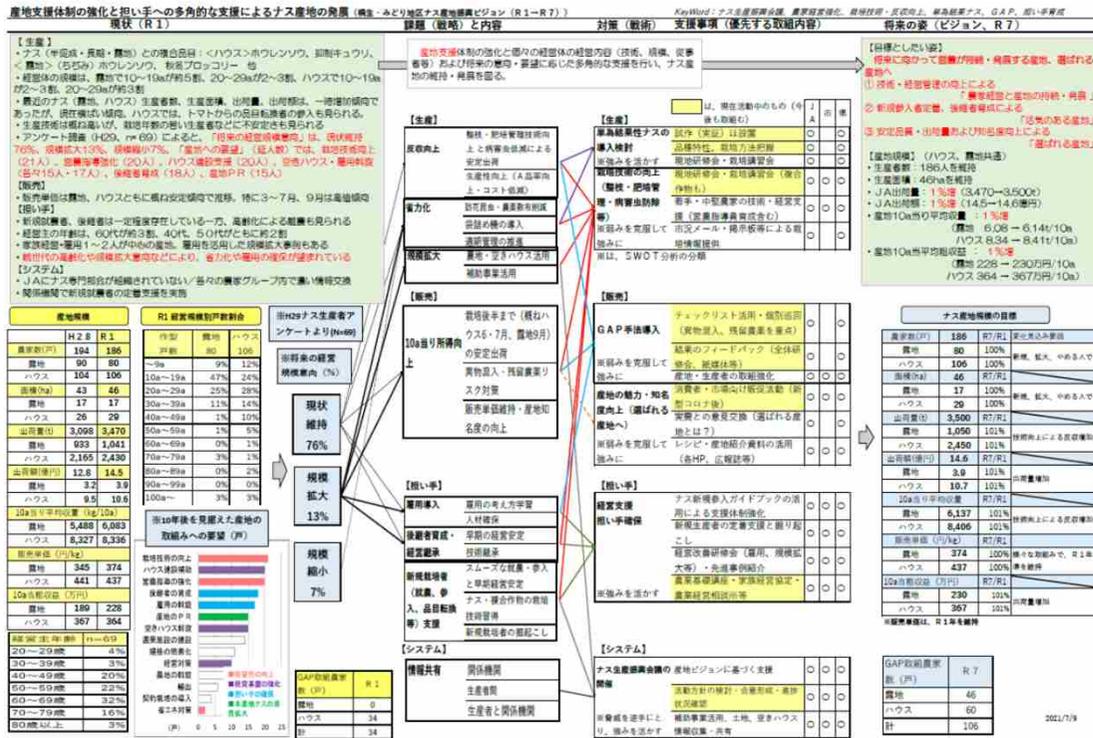
IV 活動経過及び結果



盛り上げよう！桐生・みどり地域の農業を！
群馬県東部農業事務所普及指導課
桐生地区農業指導センター

1 「ナス」産地の支援強化②

- 産地振興にかかる各活動を戦略的、一体的に進める体制づくり
- ナス産地ビジョン（R1→R7）とこれに基づく年間活動計画を作成



ナスの産地ビジョン及び次年度活動のスケジュールイメージ(R2)

→次期普及計画 (R3~5) へ反映



2 新規栽培者の定着支援①

【新規就農者へのナス栽培の推奨】（随時）

- 就農相談で、初期経費が少なく販売単価が安定している露地ナスを推奨

【農業基礎講座の開催】（H30～）

- 新規参入5年目までの栽培者を対象とした、経営の考え方も含めた現地研修会を実施

【新規ナス栽培者へのほ場巡回】（毎年）

- 新規栽培者に対し、V字仕立てを中心とした栽培技術の定着を図る

【新規参入ガイドブック作成】（R2）

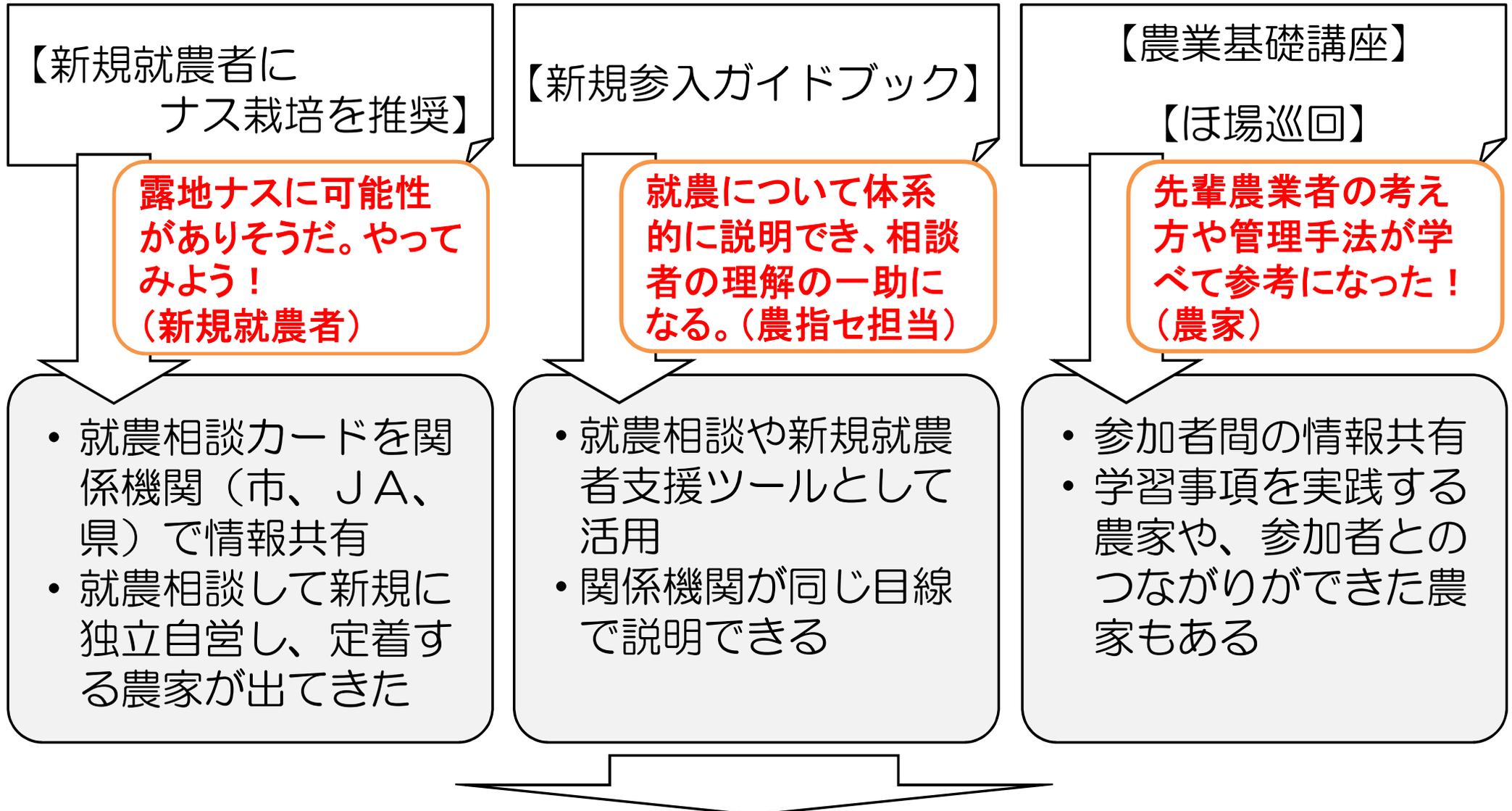
- 就農相談から新規参入までのスケジュール、各種資材の準備等を体系的にまとめた「新規参入ガイドブック」を作成



農業基礎講座／農業経営士ほ場視察
（ハウスナス、R1）



2 新規栽培者の定着支援②



新規栽培者の就農・定着は着実に増加



3 生産技術の向上による品質・収量向上①

【露地ナス 栽培研修会】（H30、R1）

- V字仕立てを中心とした栽培技術の定着を図るための研修会
- R2年度はコロナ禍で現地研修会は中止、個別巡回の強化と栽培ステージに応じた資料を配付

【施設ナス 天敵定着・栽培技術支援】（毎年）

- 天敵製剤（バンカーシート）の実証試験（H29）と普及
- 巡回による天敵定着確認と栽培技術支援

【施設ナス 単為結果性ナスの試作・検討】（H30～）

- 単為結果性ナスを試作し、その特性を把握
- PC千両、N501（現在の品種名：TNA-168）、N559（タキイ）、とげなし輝楽（農研機構）を試作



施設ナス天敵利用講習会と試験した天敵製剤（H29）



3 生産技術の向上による品質・収量向上②

【天敵定着・栽培技術支援】
【露地ナス栽培研修会】

栽培上の不安が解消された！（農家）

- 天敵普及（農家の80%以上）により、化学農薬及び農薬散布労力の削減が図られた
- 研修会、巡回指導などで適正な整枝技術が普及

【単為結果性ナスの試作・検討】

次年度作付予定だが、注意点は？（農家）

- 単収はやや少ない
- 受粉経費削減、省力化及びアナフィラキシーショック対策として農家の関心は高い
- 品質、収量および栽培方法に課題



単為結果性ナス試作状況（H30～）

R3：現地研修会を開催



4 GAP手法によるナス生産への取組①

【JAと連携した推進体制】（H30～）

- JAとの打ち合わせを経て推進方針を決定

【GAPチェックシート配布と戸別巡回】（H30～）

- GAPチェックシートの配布と集計
- 異物混入回避、農薬適正使用、農作業安全の啓発を重点とした個別巡回（9～10戸／年）

【GAP研修会開催とGAP新聞作成】（H30～）

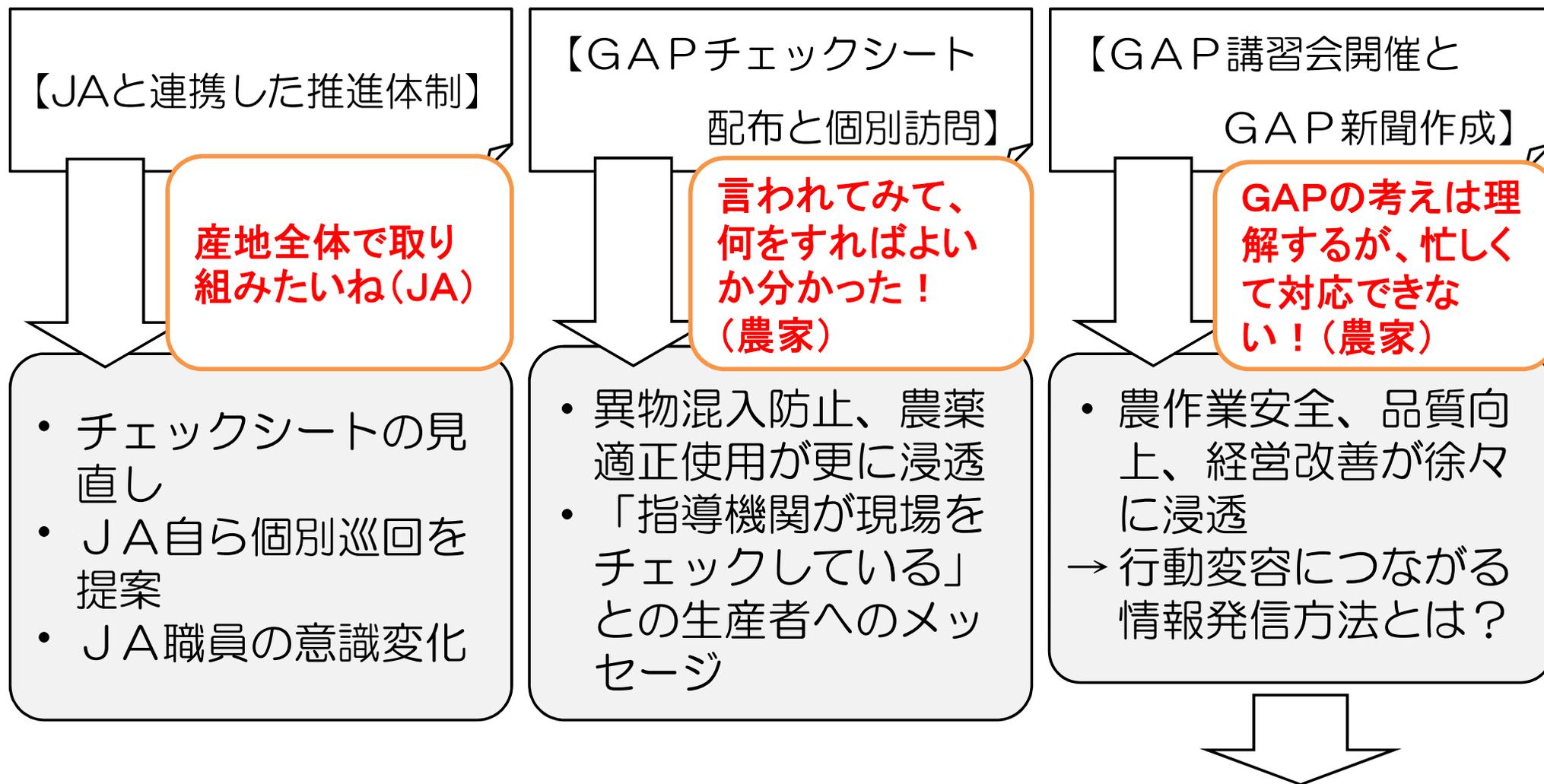
- GAPの考え方、活動を農家へ伝えるため、研修会開催やGAP新聞を作成して農家へ配布（各々1回／年）



上：GAP講習会
下：GAP新聞（R1）



4 GAP手法によるナス生産への取組②





5 産地PRによる流通支援①

【市場視察】（H30）

- 実需者ニーズの把握を目的に、大田市場（市場担当者と意見交換）、都内スーパー（2店舗）を視察

【ナス産地PRイベントの開催】（R1）

- 地元消費者へナス産地であることを理解してもらうため、笠懸地区産業祭で消費拡大イベントを開催し、ナス料理の試食と産地資料を配付

【ナスレシピ・レシピ動画、産地紹介動画作成と発信】（R2）

- 農家発案ナスレシピ6品のリーフレット作成(8,000部)と配布
- 3本のレシピ動画と1本の産地紹介動画(蚕糸園芸課へ協力)作成
- リーフレットは市、管内直売所、女性農業者組織、市場へ配布
- レシピ動画は桐生市HP、JA全農ぐんまtwitter、群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」（産地紹介動画）で配信中



各産地の荷姿を確認（市場視察）
（H30）



レシピリーフレット
（R2）



5 産地PRによる流通支援②

【市場視察】

今後も品質の良いものを出荷しよう！（農家）

- 生産者が品質向上と産地確立に向けての役割を自覚



市場関係者との意見交換（H30）

【産地PRイベント】

地元がナス産地とは知らなかった！（消費者）

- ナス産地周知調査の結果、認知度は56.5%、前回調査（H28）より5%向上



ナス産地PRイベント（R1）

【ナス料理レシピ・動画（レシピ、産地紹介）作成と発信】

様々な媒体でナス産地をPRしていこう！（関係者）

- 上毛新聞、日本農業新聞がこれらの記事を掲載
- 動画再生回数（R 3 / 8 / 28）
レシピ（3品計）：1,389回
ぐんまのナス：609回



レシピ動画サムネイル（ラタトゥイユ）とQRコード（R2）

Ⅳ 活動経過及び結果



盛り上げよう！桐生・みどり地域の農業を！
群馬県東部農業事務所普及指導課
桐生地区農業指導センター

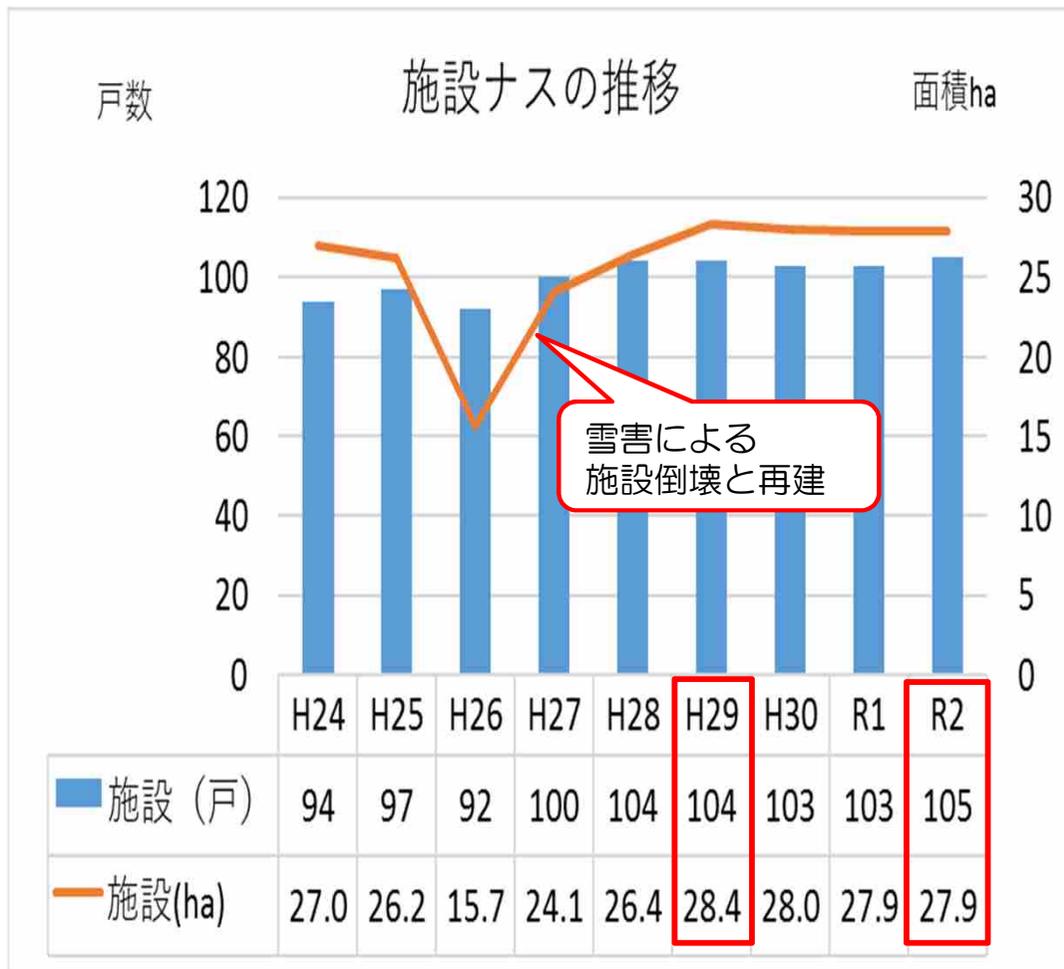
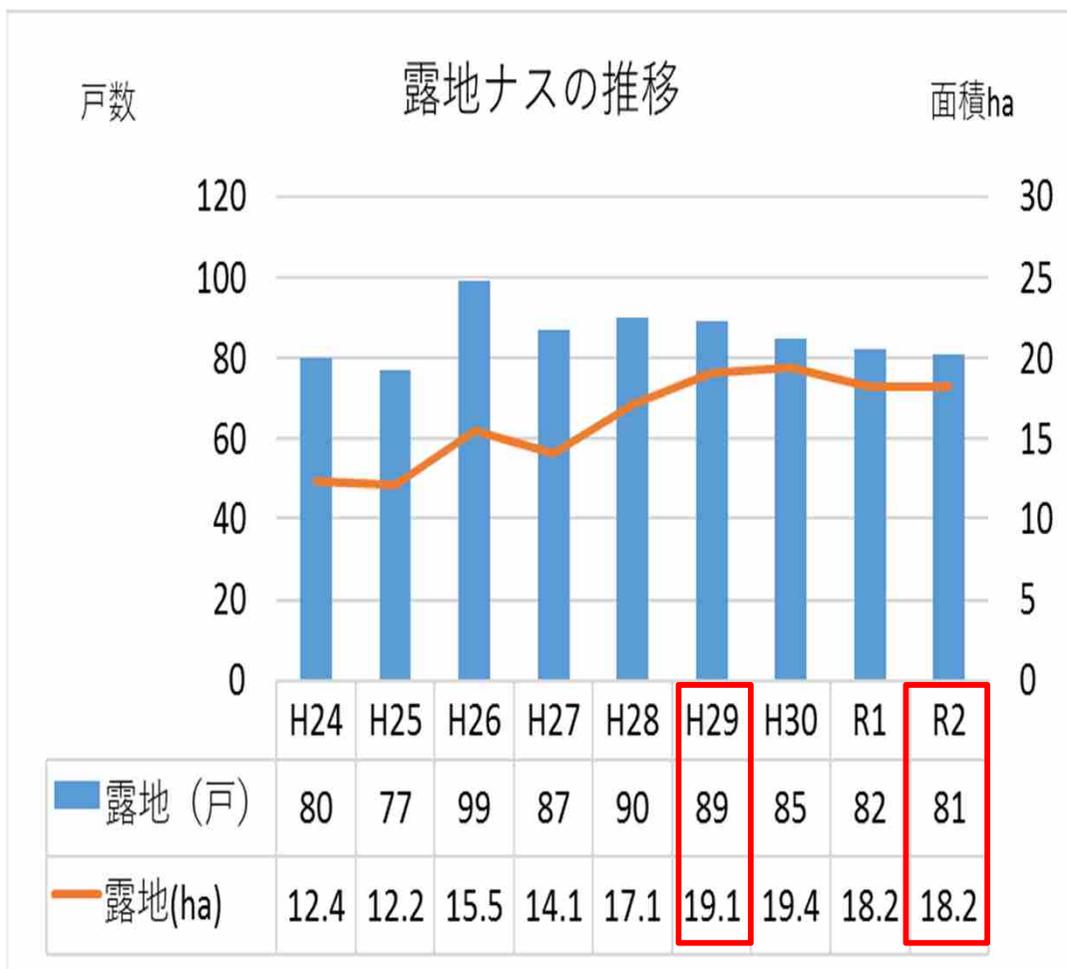
【目標に対する達成状況】

H29年に比べ、R2年はJA出荷量、新規栽培者数、GAP取組生産者数は増加

目標項目\年次	H29 (現状)	H30		R1		R2	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
JAナス出荷量 (t) ()を上方修正	3,366	3,382	3,514	3,514 (3,398)	3,465	3,514 (3,414)	3,430
新規ナス栽培者数 (単年度)	3	5	2	5	5	5	4
施設ナスA品率 (%)	81	82	82	83	83	84	79
GAPに取り組んだ生産者数 (累積)	9	20	20	40	57	60	72



【JAにっただみどり笠懸・新里地区のナス生産規模推移】



- H29年と比較すると、R2年は露地ナス、施設ナスともに栽培者数、栽培面積は横ばい傾向
- 普及活動がナス産地の生産規模維持に貢献

V 残された課題と今後の対応



盛り上げよう！桐生・みどり地域の農業を！
群馬県東部農業事務所普及指導課
桐生地区農業指導センター

分類	残された課題 「農家個々の経営基盤強化による産地の発展」	今後の対応
組織	組織的な農家支援の更なる強化	関係機関の情報共有と協働
担い手	担い手育成の継続	新規栽培者の定着と経営安定支援
技術	新技術（単為結果性ナス等）をはじめとした産地の技術研鑽	若手・中堅の栽培技術向上と、単為結果性ナスの普及・定着
販売（技術）	GAP手法の理解促進	農家の理解・行動変容につながる取組と情報発信
販売	販売先（市場・消費者）から選ばれる産地へ	産地PRによる消費拡大支援



次期普及計画（R3～）へ反映